

「だれもが誇れる学校～自信と信頼に満ちた学校～」

令和6年11月29日(金)



杉中だより

令和6年度
No.9



「じりつ(自立・自律)・共生・チャレンジ」

ブログ携帯サイト

枚方市立杉中学校 TEL: 050-7102-9240 FAX: 072-858-8985

☆師走 ～今年も残り1か月～

いよいよ今年最後の月となりました。12月は和名で「師走(しわす)」といい、その由来は諸説ありますが、その中の一つ「為果つ(しはつ)」は「一年の最後になし終える」という意味です。年末を控え、何かと忙しい時期ですが、この一年をゆっくり振り返り、し忘れていたり予定してできていないことをやり切って、今年を終えたいものです。

まだ1ヶ月ありますが、保護者の皆様、地域の皆様、今年一年大変お世話になりました。ありがとうございました。教職員一同、お礼を申し上げるとともに、今後も杉中生の「学び」と「育ち」のため、全力で取り組んでまいりますので、来年もよろしくお願ひ申し上げます。どうぞ、よいお年をお迎えください。

「誰か」のこと じゃない。



☆人権週間(12月4日～10日)

昭和23年12月10日、国際連合において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、採択日である12月10日は、「人権デー(Human Rights Day)」と定められています。

日本でも、人権デーを最終日とする1週間(12月4日から12月10日)を「人権週間」と定め、昭和24年から毎年、各関係機関や各種団体が協力して、全国的に人権啓発活動を特に強化して行っています。

学校でも年間を通して、いじめ問題や、インターネット上の人権侵害、障がいのある人や外国人、性的マイノリティ等に対する偏見や差別、部落差別(同和問題)など、多様な人権問題について学習する機会をもうけています。何よりも「自分の命も仲間の命も大切にすること」を一番身近な人権課題であると考えた上で、私たち一人ひとりが様々な人権問題を、自分以外の「誰か」のことではなく、自分のこととして捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて、認識を深めることが不可欠だと言えます。

この3年間で一番大切にしてほしいことを、お話ししたいと思います。それは、「命を大切にすること」です。言い換えれば、「自分という人間を大切にしてください。」ということです。

人にはそれぞれ、得意なこと・苦手なこと・自信のあること・ないことがあります。毎日の生活のなかで、楽しいこともあれば、苦しいこと、しんどいこともあります。しかし、それらすべてをひっくるめて、「あなた」という人間はここに生きているのです。一人ひとりが、本当にかげがえのない存在なのです。今、ここにいるということ、そのこと自体が、何よりもすばらしく、大切なことなのです。そしてそれは、あなたの周りの人にとっても同じことなのです。

自分に自信をもってください。自分のことを好きになってください。そして、自分と人の命を大切にしてください。自分も含めて、人の命や個性や気持ちを、大切にできる人になってください。

これからの3年間、かけがえのない、自分と人の命を大切に、人としての想像力と感性を磨き、そして、仲間と共に学び合い、成長していきましょう。
(令和6年度入学式「学校長の式辞」より抜粋)

この人権週間を機に、今一度「自分の命を大切にすること・他の人の命を大切にすること」について、みんなで考えてみませんか。

☆お知らせ① 補助員・協力員の着任について



11月28日付で退職した元育休代替教員が、支援教育補助員(月・火勤務)、及び不登校支援協力員(水・木・金勤務)として、引き続き勤務しています。よろしくお願いいたします。

☆お知らせ② 冬季休業期間の学校閉庁日

12月29日(土)～1月3日(金)の期間は機械警備になります。学校施設管理人も勤務せず、対応できません。生徒の生命の危機や事故などの緊急事案は、警察などの関係機関にまずご相談ください。